

第2章

健康政策課

健康政策課は、企画調整担当、健康づくり担当及び予防接種担当で組織され、企画調整担当は、保健所運営会議の開催、保健所の公有財産管理、各種統計調査等を行った。健康づくり担当は、はちおうじ健康づくり推進協議会と共に、健康増進の普及・啓発、対象者に対する保健栄養に関する指導・助言を行った。予防接種担当は、各種予防接種を実施した。

1 広報活動・健康教育

(1) 広報活動

ア 広報媒体の活用

市広報等を通じて事業の周知を図るほか、所内外に垂れ幕及び看板等を掲示するなどの広報活動を行った。

広報媒体の活用状況（表 1-1）

種 別	件 数	内 容
広報「はちおうじ」 (特集号記事含む)	90件	健康政策課32件、生活衛生課17件、保健対策課41件
タウン誌	4件	健康政策課4件
看板の掲示	4件	健康政策課1件、生活衛生課1件、保健対策課2件
シティビジョン等	7件	保健対策課6件、生活衛生課1件
医師会報	12件	

イ ホームページによる情報提供

保健所の事業案内、保健衛生情報、イベント情報等をタイムリーに提供するため、ホームページによる情報提供に取り組んだ。

- ・ホームページアドレス

(PC版) <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/hoken/007/index.html>

(モバイル版) <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/mobile/kurashi/hoken/007/index.html>

(2) 健康教育

地域住民が保健衛生に関する理解と関心を高め、心身共に健康で楽しく日常生活を快適に過ごすために、業務を通じて健康教育を展開した。また、保健指導や監視指導のほか、地域の実情をとらえ有効な視聴覚教材等を利用して、関係機関と連携しながら講習会などを行った。

健康教育実施状況（表 1-2）

区 分	合 計		会 場			
	回数	参加人員 (延)	所 内		所 外	
			回数	参加人員 (延)	回数	参加人員 (延)
28 年 度 総 数	148	9,881	41	1,261	107	8,620
29 年 度 総 数	124	6,746	41	853	83	5,893
感染症（結核・エイズ含む）	18	1,635	3	62	15	1573
精神	9	305	0	0	9	305
難病	4	169	0	0	4	169
アレルギー	—	—	—	—	—	—
成人・老人	—	—	—	—	—	—
健康・食育	21	1,100	4	109	17	991
歯科	—	—	—	—	—	—
医事・薬事	2	118	0	0	2	118
栄養	12	710	3	78	9	632
食品	50	2,058	29	554	21	1,504
環境	8	651	2	50	6	601
その他	—	—	—	—	—	—

(3) DVD等の活用

当所所有のDVD等を、講習会等で利用するとともに学校や老人福祉施設等へ貸出を行い、衛生思想の普及を図った。

DVD等の地域への貸出状況（表 1-3）

区 分	食品衛生	環境衛生	栄養	歯科	運動	健康づくり	薬乱防止	喫煙防止	アルコール	救急	思春期	エイズ	感染症	S T D	精神保健	合 計
数	15	—	1	—	—	—	—	3	—	—	—	—	10	—	—	29

(4) AED（自動体外式除細動器）練習機の貸出

当所所有のAED練習機を学校や地域団体に貸出を行い、AEDの操作方法の普及を図った。

AED練習機の貸出状況（表 1-4）

貸出先	学校	町会自治会	他団体	庁内	合 計
回 数	3	2	5	1	11

2 研修・教育

(1) 実習生等指導

公衆衛生関係の人材の確保と保健医療福祉関係者の公衆衛生についての関心を深めるため、保健師学生、管理栄養士学生、医学生、獣医師学生に対して下表のとおり実習を受け入れ、指導を実施した。また、保健所以外の業務についても保健福祉センター等の見学をおこない、対人保健サービスに関する理解を深めた。

平成29年度実習生等指導状況（表2-1）

対象	学校名	実施期間	指導人員	指導内容等
保健師学生	杏林大学保健学部看護学科	6月12日 ～8月4日	8名	講義：地域保健活動の実際 見学：家庭訪問、デイケア、結核検診等
管理栄養士学生	帝京平成大学健康メディアカル学部健康栄養学科	4月24日 ～6月29日	12名	講義：保健所各課及び保健栄養業務について 見学：乳児健診、特定給食施設指導等
医学生	東京医科歯科大学医学部 東京医科大学医学部 順天堂大学医学部	5月25日 ～2月3日	6名	講義：保健所の仕事について等 見学：結核の接触者検診、感染症の診査に関する協議会、H I V検査、介護予防教室、精神疾患患者の家庭訪問の同行、食品衛生監視検査同行等
獣医学生	鳥取大学農学部獣医学科	8月1日 ～8月4日	1名	講義：保健所業務及び生活衛生課業務について 帯同実習：生活衛生関係施設監視、現場調査体験等
	日本大学生物資源科学部獣医学科		1名	

3 情報公開

保健所が保有する情報に対する公文書公開請求及び関係機関からの行政照会の件数は、下表のとおりであり、適切に公文書の公開又は情報の提供を行った。

情報公開の状況（表3-1）

区分	件数	食品衛生	医事薬事	環境衛生	その他
公文書公開請求	294	193	158	125	1
行政照会	169	75	87	7	—

* 公文書公開請求の件数には、情報提供依頼件数を含む。各区分に計上した数は、各請求・照会ごとの対象公文書数を合計しているため、これらの計は件数と一致しない場合がある。

4 統計・調査

保健衛生行政を推進するための企画と実施上の指針として、また、行政効果を把握するための基礎資料として次の統計及び調査を実施し市内の状況を把握するとともに、東京都を經由して厚生労働省に送付した。

(1) 人口動態統計

出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をもとに「人口動態調査オンライン報告システム」により調査票データを審査集計し、人口動態を把握するとともに地域保健指標として役立てた。

(2) 衛生統計調査

国民保健の実態を知り、社会保障や厚生労働行政の基礎資料とするため、統計法に基づき各種調査を実施した。平成29年度における市内の実施状況は次のとおりである。

各種統計調査実施状況(表4-1)

調査名	目的	期日	対象
国民生活基礎調査	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定すること。	6月1日	6 地区 328 世帯
医療施設静態調査	医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ること。	10月1日	病院 39施設 一般診療所 378施設 歯科診療所 287施設
患者調査	病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月17日 ～20日 間の指定日	病院 19施設 一般診療所 5施設
受療行動調査	医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。	10月17日 ～19日 間の指定日	病院 1施設
2017年社会保障・人口問題基本調査 (生活と支え合いに関する調査)	社会保障サービスの利用やその背景にある国民における自助・共助の動向、地域や家族以外の他者との関わり方についての資料を得ること。	7月1日	2地区 94世帯

(3) その他の統計・調査

地域保健・健康増進事業報告

国及び地方公共団体の地域保健施策の効率的・効果的な増進のための基礎資料として、市の地域保健事業及び健康増進事業の実施状況を厚生労働省へ報告した。

5 健康づくり

(1) 健康ネットワークとして健康づくりを支援する活動

すべての市民が健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民・各種団体と行政がネットワークをつくり、健康的な生活様式や健康づくりを支援するまちづくりを進めるため、「はちおうじ健康づくり推進協議会」を平成15年11月に設立した。同協議会とともにイベント等を通し、健康づくりに関する普及啓発活動を実施した。

ア 第14回市民健康の日「2017健康フェスタ・食育フェスタ」

毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりを楽しみながら体験できるイベントを開催した。また、平成29年度は市制100周年記念事業として例年11月に実施していた「食育フェスタ」と合同開催し、食育についても楽しみながら、意識できる機会とした。

健康フェスタ全体会及び実行委員会（表5-1）

項目	回数	開催日	内容等
健康フェスタ全体会	第1回	平成28年10月25日	開催にむけて、はちおうじ健康づくり推進協議会構成団体から推薦された委員による健康フェスタ実行委員会を設置して検討を進めた。
	第2回	平成29年5月9日	
	第3回	6月15日	
健康フェスタ実行委員会	第1回	平成29年1月13日	
	第2回	3月2日	
	第3回	4月14日	

健康フェスタ開催（表5-2）

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
26	5月18日	富士森公園陸上競技場・市民体育館	45団体	9,222名
27	5月17日	エスフォルタアリーナ 八王子	45団体	9,353名

健康フェスタ・食育フェスタ開催（表5-3）

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
28	5月15日	富士森公園陸上競技場・市民体育館	41団体	10,298名
29	5月21日	エスフォルタアリーナ 八王子	46団体	10,674名



イ 健康づくり活動発表会

地域でいきいきと活動しているグループや団体の発表を通じて、地域における健康づくりの活性化を図る事を目的に開催した。

実施状況（表5-4）

年度	内容	開催日 会場	参加団体	来場者
28	みんな元気で健康長寿 基調講演講師 有限会社ビーアウェイク 久野 秀隆先生	1月22日 学園都市センター	11団体	186名
29	みんなと一緒に健康づくり 基調講演講師 一般社団法人 ケア・ウォーキング普及会 黒田 恵美子先生	1月28日 北野市民センター ホール	11団体	155名

ウ 第38回八王子いちよう祭りへの参加

健康づくりに関する健康情報の発信や市民健康の日のPRを行った。

いちよう祭り参加状況（表5-5）

年度	開催日	参加団体	来場者
28	11月19・20日	8団体	2,503名
29	11月18・19日	8団体	5,565名

（2）健康づくりサポーター

地域において市民が生涯を心豊かにいきいきと生きがいをもって暮らせるよう、地域における健康づくりを推進することを目的とし、健康づくりサポーターを養成する。また、健康づくりサポーターが、地域に健康づくりの輪を広げていけるよう支援する。

健康づくりサポーター登録者数
（表5-6）

年度	登録者
28	33
29	32

（3）生涯を通じた女性の健康支援事業

妊娠、出産等女性固有の機能及び身体的特徴を有することから生じる女性の心身に関するさまざまな支障や悩みに対応するため、関係所管とともに教育・相談等を実施した。

女性の健康支援事業実施状況（表5-7）

年度	健康教育	健康相談	不妊・不育症相談
28	342	132	通年実施
29	278	132	通年実施

※保健福祉センター等、市の取り組みの計

○女性の健康週間講演会「語ろう、自分のからだ 私に愛される私へ～自分らしい私（わたし）になるために」
開催日 平成30年3月4日（日）、講師 原千晶氏、会場 学園都市センターホール、受講者83人

6 食育の推進

市民一人ひとりの食に関する理解や関心を深め、健全な食生活の実践を目指す『第2期八王子市食育推進計画』に基づき、食育フェスタ・市民食育講座の開催やライフステージにあわせた食生活を応援する冊子の作成等を行なった。

(1) 専門的栄養指導等

生活習慣病ハイリスク者・在宅難病患者等への専門的栄養指導及び集団指導を行った。

ア 個別栄養指導

個別栄養指導状況（表6-1）

年 度	総 数	再 掲			
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他
28	54	25	3	10	16
29	46	17	0	13	16

イ 集団栄養指導

集団栄養指導状況（表6-2）

年 度	総 数	再 掲				再掲
		生活習慣病	難病	その他疾病	その他	精神
28	80	6	0	44	30	12
29	214	0	0	0	214	0

(2) 地区組織活動支援

ア 団体支援

市民の食生活の向上、健康づくりの推進のため地域で活動している団体への支援を行った。

団体支援（表6-3）

項 目	実施回数	延べ人員
地域活動栄養士会	14回	123人
八王子管理栄養士の会ダイエタリー・フレンズ	13回	75人

(3) 国民健康・栄養調査

国民の総合的健康増進を図る基礎資料として、健康増進法に基づき厚生労働省の指定地区対象に調査を実施した。

(4) 食育推進事業

第2期八王子食育推進計画の推進を図るため、八王子市食育推進会議を開催した。また、事業の取り組みとして食育フェスタの実施、はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）の運営を行った。

ア 食育推進会議

八王子市食育推進計画の推進を図るため、総合的な見地から意見交換を行った。

イ 食育フェスタ

平成29年は、毎年5月の第3日曜日を「市民健康の日」と定め、市制100周年記念事業として健康づくりを楽しみながら体験できるイベント『健康フェスタ』と合同開催し、楽しみながら『健康』『食育』について体験できるイベントを実施した。

食育フェスタ実行委員会（表6-5）

項目	開催日	内容等
食育フェスタ 実行委員会	平成28年11月17日	「2017健康フェスタ・食育フェスタ」について
	平成29年1月16日	イベント内容について
	3月3日	各団体の出展内容について
	4月21日	レイアウトについて
	8月23日	決算報告、次年度の実行委員会立ち上げについて
健康フェスタ・食育 フェスタ全体会	平成29年5月9日	当日のスケジュール等全体調整

食育フェスタ（表6-6）

年度	開催日	会場	参加団体	来場者
28	5月15日（日） 健康フェスタと同日開催	富士森公園陸上競技場・富士森体育館	15	10,298名
29	5月21日（日） 健康フェスタと同日開催	エスフォルタアリーナ八王子	15	10,674名

ウ ヘルシーメニュー推進事業

市民の健康維持・増進及び生活習慣病予防の観点から、市内の外食産業（飲食店、給食施設、スーパー等）に対し、野菜が多くカロリーにも配慮したヘルシーメニューを提供できる店舗の登録店制度を行い、食環境整備を図っている。

ヘルシーメニュー登録店（表6-7）

年度	登録店舗
29	52

エ 市民食育講座

6月の食育月間にあわせ、市民の食育への関心や理解を深めるための講演会を実施した。

市民食育講座実施状況（表6-8）

開催日	会場	内容	参加人数
6月11日（日）	学園都市センター イベントホール	親子で楽しく学ぼう 考えよう！ ～いただきますの心を大切に～ 講師：上月 マリア	37名

オ はちおうじ食育ネット（食育専用ホームページ）

平成24年4月に開設した食育の専用ホームページにより、市内の食育情報の発信を行った。

URL: <http://www.hachioji-shokuiku.com/>

7 予防接種

感染症の発生及びまん延を予防するため、各種予防接種を実施した。

定期（A類疾病）予防接種実施状況（表7-1）

種 別			対象者数	実施者数		
				接種完了者	予診のみの者	
四種混合 (ジフテリア、百日せき、 破傷風、不活化ポリオ)	第1期	初回	第1回	3,526人	3,385人	16人
			第2回	3,526人	3,473人	24人
			第3回	3,526人	3,427人	36人
		追 加	3,879人	3,788人	70人	
三種混合 (ジフテリア、百日せき、 破傷風)	第1期	初回	第1回	—	—	—
			第2回	—	—	—
			第3回	—	—	—
		追 加	—	—	—	
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	第1期	初回	第1回	—	4人	—
			第2回	—	22人	—
			第3回	—	41人	—
		追 加	—	170人	1人	
二種混合（ジフテリア、破傷風）			第2期	4,940人	3,642人	10人
麻しん風しん混合			第1期	3,851人	3,517人	66人
			第2期	4,423人	4,049人	19人
日本脳炎	第1期	初回	第1回	4,058人	4,278人	36人
			第2回	4,058人	4,274人	33人
		追 加	4,154人	4,558人	30人	
		第2期			4,788人	5,075人
結核（BCG）				3,526人	3,460人	59人
子宮頸がん予防ワクチン (ヒトパピローマウイルス感染症)			第1回	2,346人	6人	1人
			第2回	2,346人	7人	—
			第3回	2,346人	5人	—
ヒブワクチン (インフルエンザ菌b型)	初回	第1回	3,526人	3,373人	26人	
		第2回	3,526人	3,352人	19人	
		第3回	3,526人	3,369人	23人	
		追 加	3,851人	3,541人	60人	
小児用肺炎球菌ワクチン	初回	第1回	3,526人	3,389人	23人	
		第2回	3,526人	3,366人	19人	
		第3回	3,526人	3,387人	24人	
		追 加	3,851人	3,557人	65人	
水痘ワクチン（みずぼうそう）			第1回	3,851人	3,556人	72人
			第2回	3,851人	3,565人	46人
B型肝炎ワクチン			第1回	3,415人	3,374人	27人
			第2回	3,415人	3,362人	24人
			第3回	3,415人	3,387人	92人

* 三種混合はワクチンの製造販売一時中断により、四種混合へ切り替わったため実績なし。

* 子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年6月14日から積極的接種勧奨を中止。

定期（A類疾病）予防接種相互乗り入れ実施状況（表7-2）

区 分	本市住民が他市で接種	他市住民が本市で接種
延 接 種 者 数	3,080 人	1,854 人

* 南多摩5市（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）で実施。

高齢者インフルエンザ（B類疾病）予防接種（表7-3）

実施期間	平成29年10月10日～平成30年1月31日
対象者	65歳以上の方
	60～64歳で心臓等内部疾患に1級程度の障害のある方
対象者数	146,725人
接種者数	50,434人
接種率	34.4%
自己負担額	2,500円（生活保護受給者等は無料）

* 町田市、日野市、多摩市、稲城市の医療機関での接種を実施（相互乗り入れ）

高齢者肺炎球菌感染症予防接種（表7-4）

実施期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
区分	定期接種（B類疾病）	任意接種
対象者	65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳の方	65歳以上で定期接種対象以外の方
	60歳～64歳で心臓等内部疾患に1級程度の障害がある方	
接種者数	10,696人	1,110人
接種者数合計	11,806人	
自己負担額	4,000円（生活保護受給者等は無料）	

* 初めて接種する方が対象。

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施。

麻しん風しん特別予防接種（表7-5）

実施期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
対象者	2歳から18歳11か月（19歳の誕生日の前日）までの方で、麻しん風しん混合第1期・第2期・第3期の定期接種を受けられなかった方	
接種者数	麻しん風しん混合	268人
	麻しん単独	0人
	風しん単独	1人
	合計	269人
自己負担額	なし	

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施。

先天性風しん症候群対策の風しん予防接種（表7-6）

実施期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
対象者	妊娠を予定又は希望する19歳以上の風しん抗体価の低い女性	
接種者数	麻しん風しん混合	244人
	風しん単独	0人
	合計	244人
自己負担額	なし	

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施。

B型肝炎特別予防接種（表7-7）

実施期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
対象者	1歳から2歳11か月（3歳の誕生日の前日）までの方で、全3回接種のうち不足回数のある方
接種者数	2,431人
自己負担額	なし

* 八王子市独自の任意予防接種の費用助成制度として実施。

8 医療安全支援センター

医療安全支援センターを運営し、市民が抱える医療への不安や苦情、相談等に対応するとともに、医療機関従事者や市民に対して、医療安全に関する助言や情報提供を行った。

平成30年2月8日、八王子市医療連携推進懇談会に当センターの運営状況について報告した。

（1）医療安全相談窓口

相談件数（表8-1）

年度	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	918	84	82	76	77	82	93	68	61	75	89	69	62
29	892	54	68	97	62	61	80	80	70	52	79	97	92

相談者（表8-2）

年度	本人	家族・親戚	友人・知人	医療機関	その他	不明
28	587	248	9	1	24	49
29	587	228	8	2	27	40
割合(%)	65.8	25.6	0.9	0.2	3.0	4.5

内容（表 8-3）

年度	相談	苦情
28	716	202
29	636	256
割合(%)	71.3	28.7

処理経過（表 8-4）

年度	課題整理	対処方法の提案・助言・説明	医療・関係機関案内	当該機関（施設）へ連絡	立入検査（担当部署引継ぎ含む）	相談継続	市の関係部署案内	傾聴	その他（相談者から中断）	対応困難で終了（暴言等）
28	2	420	353	7	3	10	86	29	8	0
29	3	427	330	2	2	12	89	12	15	0

（2）講演会

講演会等（表 8-5）

講演会名	開催日	会場	テーマ・講師	参加者数
医療関係者向け医療安全研修会	11月15日（水）	生涯学習センター（クリエイトホール）5階ホール	守りの美学 医療安全の現状と対策 講師 小林 弘幸氏	61名
市民向け医療安全講座	12月4日（月）	生涯学習センター（クリエイトホール）11階視聴覚室	医療の上手なかかり方～情報過多の時代に正しい知識を身につけよう～ 講師 山口 育子氏	39名

9 口腔保健支援センター

平成29年4月から非常勤の歯科医師1名に加え、歯科衛生士の嘱託員1名を配置し、歯科医療従事者等への研修を実施したほか、口腔に関する知識の普及啓発としてリーフレットの作成や広報特集号の発行に取り組むとともに、総合防災訓練に参加して情報提供を行った。

（1）研修会

研修会（表 9-1）

研修会名	開催日	会場	テーマ・講師	参加者数
医療関係者向け研修会	11月22日（水）	八王子市医師会館	専門職が知っておきたい 歯周病最前線 講師 沼部 幸博氏 佐野 哲也氏 佐藤 宏和氏	86名

(2) 普及啓発

ア リーフレットの作成及び広報特集号の発行

リーフレットを5,000部作成し、高齢者あんしん相談センターや保健福祉センターに配付（講座等で活用）

広報はちおうじ 歯周病予防特集号（2018.2.15）を発行



イ 災害時の口腔ケアに関する情報提供

平成29年度八王子市総合防災訓練の災害医療講演会において、避難所での口腔ケアに関する講演を行い、避難所生活での注意事項や平時からの準備について情報提供を行った。

10 災害対策

保健所（健康部）は、医療保険部と共に、災対医療保険部・健康部として市の災害対策本部に位置付けられている。

(1) 体制

保健所の危機管理対応にあたるほか、災害対策本部、水防本部など市災対本部への配属、さらに災対医療保険部・健康部として2次救急病院等15か所の緊急医療救護所に要員を配置している。

